

西暦 2024 年 6 月 5 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	低出生体重児における新生児消化管穿孔の術後長期予後に関する検討
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 梅田 聡 小児外科 副部長
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	1981 年から 2020 年の間に当院で出生後 30 日以内に消化管穿孔に対する手術を実施した出生時体重 2500g 未満の低出生体重児
研究期間	研究実施許可後～2025 年 3 月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	低出生体重児における新生児消化管穿孔の術後長期予後に関して調査、検討することを目的とします。 対象症例について、診療録を元に以下の項目を後方視的に調査します。 患者背景、周術期情報、転帰、および長期予後 長期予後に関しては、身体発育の指標として 3 歳・6 歳時の身長 SD および体重 SD を。発達の指標として 1 歳半 (修正年齢)・3 歳 (暦年齢)・6 歳時 (暦年齢) の K 式発達検査における発達指数 (全領域 DQ 値)。
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	患者背景、周術期情報、転帰、および長期予後 長期予後に関しては、身体発育の指標として 3 歳・6 歳時の身長 SD および体重 SD を。発達の指標として 1 歳半 (修正年齢)・3 歳 (暦年齢)・6 歳時 (暦年齢) の K 式発達検査における発達指数 (全領域 DQ 値)。
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の間合せ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 小児外科 副部長 梅田 聡

否する場合の連
絡先

大阪府和泉市室堂町 840

電話 0725-56-1220 (代表)